重仮設用締結金具

リキマン

業界一強く、緩みにくい

PAT. No. 2567803

生産物賠償責任保険加入商品

リキマン 金具

G型

２枚の重ね合わせた鋼板の接合に使用。

- ・G型　　挟み幅　５０㎜
- ・GⅡ型　挟み幅　６０㎜
- ・GⅢ型　アングルブレスL-７５等取付け用
- ・GS-４０型　挟み幅　４０㎜

許容耐力　(t)

	短　期	長　期
G 型	13.5	9.0

※ 他の金具は、別頁を参照。

P型

支持杭(H型鋼)のフランジに取付け、大引き材や水平つなぎ材を接合する水平面を得る為に使用。

許容耐力　(t)

	短　期	長　期
P 型	11.0	7.5

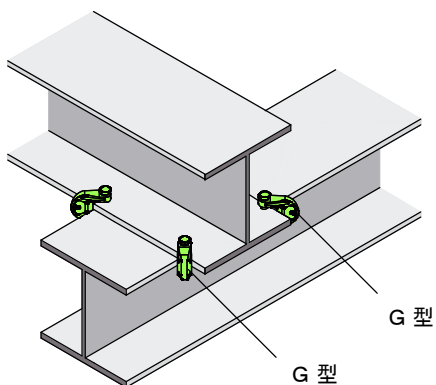
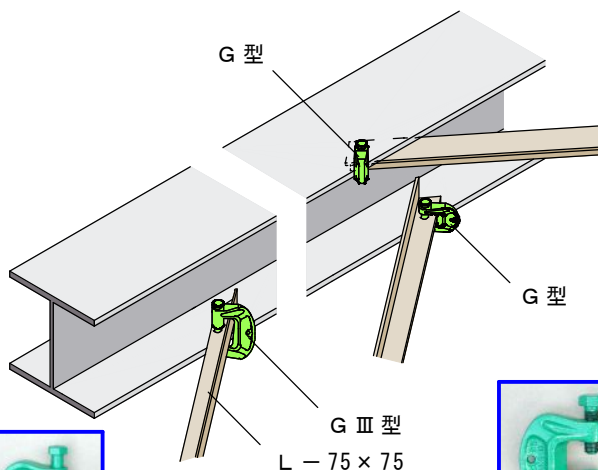
X 型

支持杭(H型鋼)のフランジに取付け、ウェブ方向の斜材(アングルブレス)を固定する為に使用。

許容耐力　(t)

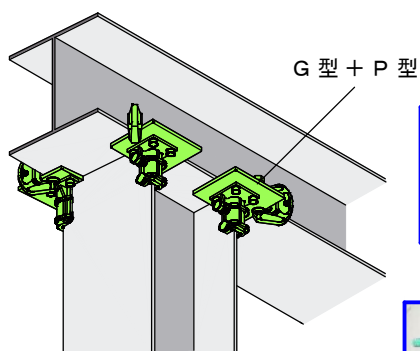
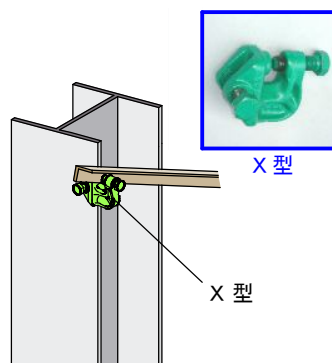
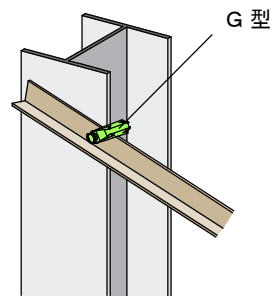
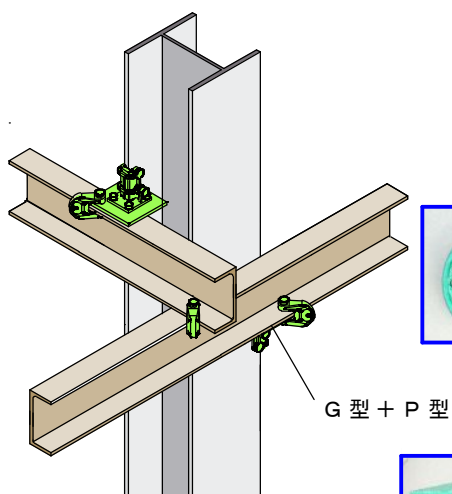
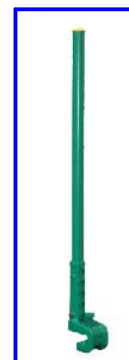
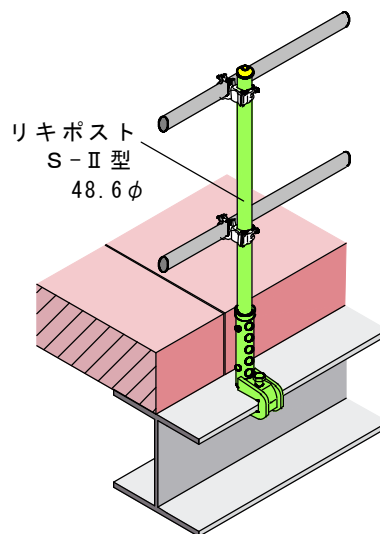
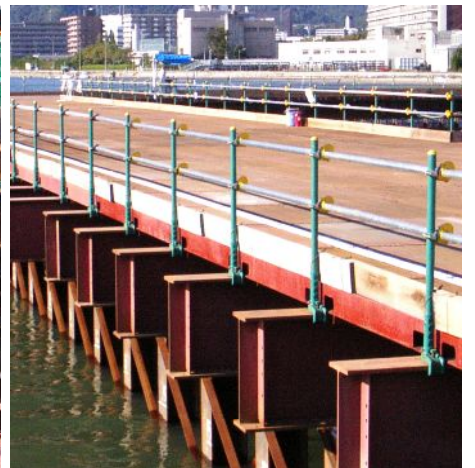
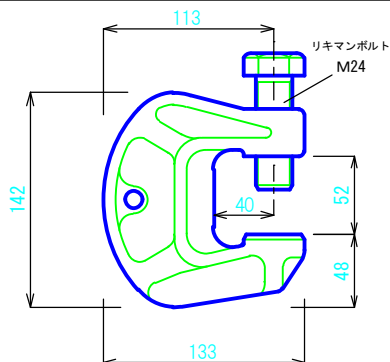
	短　期	長　期
X 型	14.5	9.5

各種金具の詳細は、別頁を参照。

リキマン

G 型
G 型
G型
大引き × 根太
G 型
G 型
G Ⅲ 型
L − 75 × 75
G Ⅲ型
大引き × 水平ブレス
G型
G 型 ＋ P 型
G型
P型
支持杭 × 大引き
X 型
X 型
G 型
支持杭 × 垂直ブレス
リキポスト
S－Ⅱ 型
48.6 φ
G型
G 型 ＋ P 型
P型
支持杭 × 水平つなぎ
手摺支柱
リキポスト
S － Ⅱ 型

リキマン

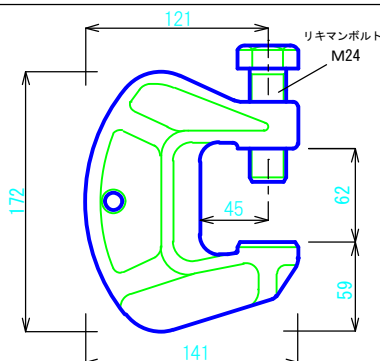
リキマン

G 型

挟み幅(㎜)	重量(kg)	レンチ(㎜)
15～50	2.7	36

許容耐力(ton)		
短期	中期	長期
13.5	11.0	9.0

2枚重ね合わせた鋼材の接合に使用。

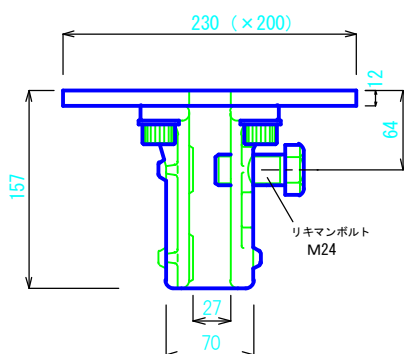
（締付けトルク 300 N·m）

GⅡ型

挟み幅(㎜)	重量(kg)	レンチ(㎜)
30～60	3.1	36

許容耐力(ton)		
短期	中期	長期
14.0	11.5	9.0

2枚重ね合わせた鋼材の接合に使用。
G型の幅拡タイプ。

（締付けトルク 300 N·m）

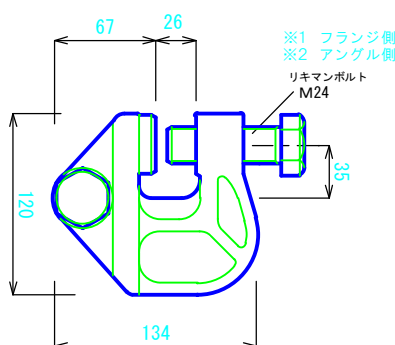
P 型

挟み幅(㎜)	重量(kg)	レンチ(㎜)
5～27	8.0	36

許容耐力(ton)		
短期	中期	長期
11.0	9.0	7.5

支持杭のフランジに取付け、大引き材や水平つなぎ材を接合する水平面を得る為に使用。

（締付けトルク 300 N·m）

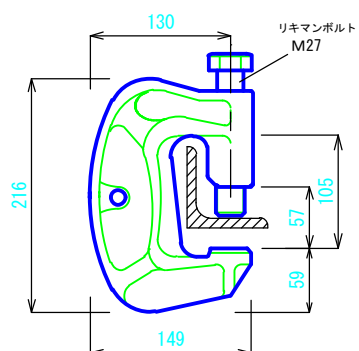
X 型

※1 フランジ側
※2 アングル側

挟み幅(㎜)	重量(kg)	レンチ(㎜)
1～25, 1～26 ※1 ※2	3.6	36

許容耐力(ton)		
短期	中期	長期
14.5	12.0	9.5

支持杭のフランジに取付け、ウェブ方向のアングルブレスを固定する為に使用。

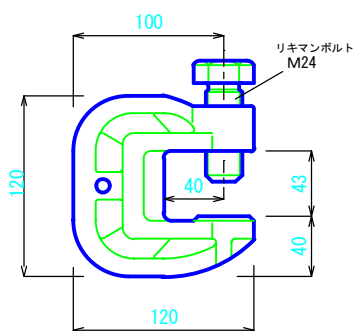
（締付けトルク 300 N·m）

GⅢ型

挟み幅(㎜)	重量(kg)	レンチ(㎜)
15～55	5.1	36

許容耐力(ton)		
短期	中期	長期
16.0	13.0	10.0

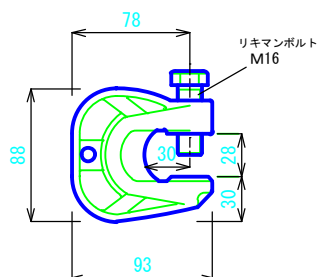
水平ブレス・垂直ブレス L-75×75をH型鋼のフランジに接合する為に使用。

（締付けトルク 300 N·m）

GS-40型

挟み幅(mm)	重量(kg)	レンチ(mm)
13～40	2.1	36

許容耐力(ton)		
短期	中期	長期
9.0	7.5	6.0

荷置構台、防護柵、オーバーブリッジ、支保工等、主に静的荷重が作用する箇所への使用。　（締付けトルク　300 N･m）

GS-25型

挟み幅(mm)	重量(kg)	レンチ(mm)
10～25	0.9	21

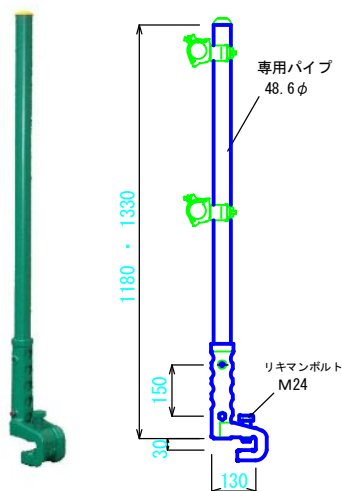
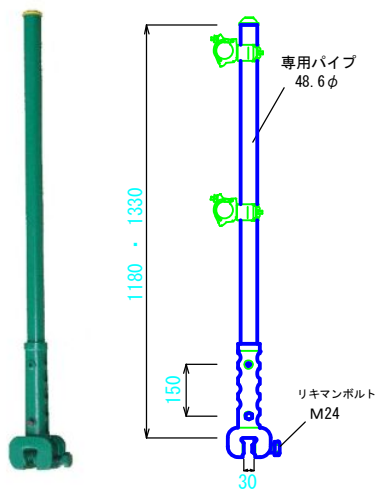
許容耐力(ton)		
短期	中期	長期
6.0	5.0	4.0

小型軽量タイプ。
ラチェットレンチで締付け可能。
（締付けトルク　150 N･m程度）

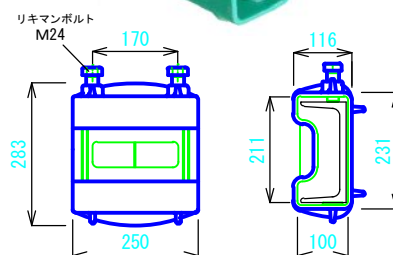
リキポスト

挟み幅(mm)	重量(kg)	レンチ(mm)
5～30	9.7	36

パイプクランプ、パイプキャップ別途

S－Ⅱ型　　H－1型

根太等のH型鋼フランジへ取付け。
（締付けトルク　200 N･m程度）

鋼矢板の頂部、山留腹起等へ縦方向に取付け。（締付けトルク　200 N･m程度）

リキボックス

重量(kg)	レンチ(mm)
11.8	36

水平つなぎ材(C-200×90)の中間接続に使用。

リキマン金具の取付けは、専用のトルクレンチをご使用下さい。

※ GS-25型，リキポストはラチェットレンチ等を使用して下さい。

単能型トルクレンチ

プレセット型トルクレンチ

設定トルク（±3%）	300 N･m
六角対辺	36 mm

トルクレンチを正しくお使い頂くために、必ず取扱説明書をお読み下さい。

リキマン

金具使用上の注意

- 金具の取付け面、鋼材の重ね合せ面に異物がないかを確認して下さい。
  コンクリート、土、砂、極端な錆等を除去して取付けて下さい。

- 鋼材の先端が、金具の奥に接するよう取付けて下さい。（図ー１）端掛けの状態では、所定の耐力が得られません。また、金具の損傷、落下の原因となります。

- 鋼材を３枚以上重ねて使用しないで下さい。鋼板が滑り、金具ががが外れます。（図ー２）

- ラチェットレンチ（３６mm）で仮締め後、専用トルクレンチ（300N･m又は3000kgf･cm）で本締めを行って下さい。（図ー３）
  ※GSー25型（150N･m程度）、リキポスト（200N･m程度）

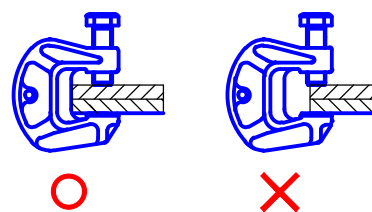
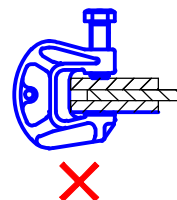
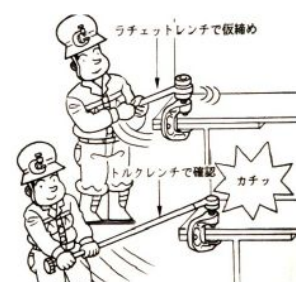
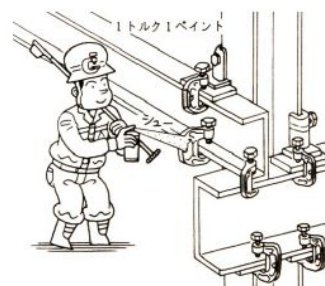
図ー１

図ー２

図ー３

- 1個の金具を本締めする毎に、その都度カラースプレー等でマーキングをして、本締め忘れを防止して下さい。（図ー４）

- 盛替え時も必ず、専用トルクレンチでトルクを掛け、色を替えたカラースプレー等で再度マーキングして下さい。

- 残った金具や取外した金具は、鋼材の上等に置き忘れのないよう注意して下さい。振動等で落下することがあり、非常に危険です。

図ー４

禁止事項

- 鋼材の吊上げ等、本来の目的以外には使用しないで下さい。

- 鋼材の一方を固定し、他方を吊上げる等の天秤吊り作業はしないで下さい。金具が破損するおそれがあります。（図ー５）

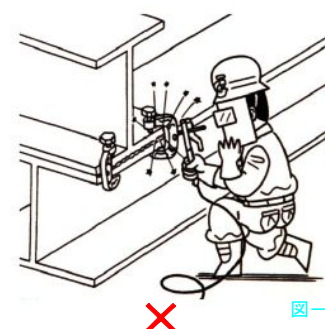
図ー５

- 金具本体・ボルトへの溶接、溶断等の加熱・加工や金具付近での溶接・溶断等の高熱発生作業は絶対行わないで下さい。（図ー６）

- 専用のリキマンボルトを他のボルトに替えて使用しないで下さい。

- 高サイクル振動が直接加わる場所での使用は避けて下さい。

- 金具の取付け後、位置、向きを直すためにハンマー等で衝撃を与えないで下さい。金具本体やボルト先端が破損し、金具が外れるおそれがあります。

※ 上記作業等を行った金具の使用は絶対に避けて下さい。

図ー６

ご不明な点は、弊社までお問合せください。

株式会社リキマン

〒811-2112
本　　　社 ／ 福岡県粕屋郡須恵町大字植木2047番地148号
TEL（092）937-3476　FAX（092）937-3484

〒140-0014
東 京 支 店 ／ 東京都品川区大井 １ 丁目４５ －１ ヒビノビル１Ｆ
TEL（03）5718-8321　FAX（03）5718-8322

〒739-1742
中国事務所 ／ 広島県広島市安佐北区亀崎 ２ 丁目 1-75-502
TEL（082）841-1415　FAX（082）841-1416

〒571-0004
関西出張所 ／ 大阪市門真市下島頭362-1 大日運輸株式会社 内
TEL（072）884-2261　FAX（072）884-2262